

平成 16 年度 内分泌かく乱化学物質環境調査結果について

県内の主要 7 河川の水質において、環境ホルモンの環境実態調査を実施しました。

その結果、6 物質が検出されました。(下表)

今回の調査結果は、全国のこれまでの調査結果の範囲内にありました。

P C B : ng/L、その他 : μg/L

検出物質	大聖寺川	動橋川	犀川	浅野川	羽咋川	御被川	河原田川	検出 下限値	主な用途
ポリ塩化ビフェニル類 (P C B)	0.59	0.01	0.17	0.34	0.02	0.03	N D	0.01	熱媒体、ノンカーボン紙、電気製品
2,4ジクロロフェノール	N D	0.02	N D	N D	N D	N D	N D	0.01	染料中間体
4-t-オクチルフェノール	0.01	N D	0.06	0.01	0.01	N D	0.04	0.01	界面活性剤の原料
ビスフェノール A	0.02	0.02	0.67	0.03	N D	N D	N D	0.01	樹脂の原料
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	N D	0.5	N D	0.3	0.3	N D	0.8	0.3	プラスチックの可塑剤
ベンゾフェノン	N D	N D	0.02	N D	N D	N D	N D	0.01	医薬品の合成原料、保香剤等

注) N D は、検出下限値未満である

担当
石川県環境部環境政策課
TEL 076-225-1463